



Ito
Yasuhiro



Matsuo
Tetsuya



Ishikawa
Tetsuo



Yamaguchi
Norihiro



Horiuchi
Hironiki



Minamikawa
Yusaku



Kumamoto
Yasuhiro



ごはん鍋
【三鈴陶器】

取っ手や形状にこだわった鍋。色やサイズに様々な種類があります。



一輪挿し

【陶工房みなみかわ】
星などの図形を用いた図柄や異国感のある色合いが特徴的です。

菰野ばんこ LINE UP

マグカップ

【藍窯】
藍色の絵付けが施され、その絵柄はたくさんの種類があります。



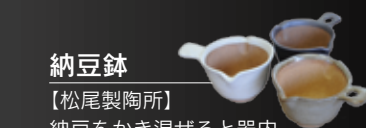
すり鉢

【山口陶器】
器内の細かな凸凹でゴマなどをすり潰せる機能的な作りになっています。



スープ
ボウル

【クラフト石川】
そのままオープンなどでスープを温められる便利な器です。



納豆鉢

【松尾製陶所】
納豆をかき混ぜると器内に施された溝によってフワフワに仕上がります。



茶碗

【泰成窯】
どんぐりシリーズには茶碗の蓋などにかわいいどんぐりが付いています。



泰成窯

Taiseigama

食器やご飯土鍋、陶櫃などを自社生産にこだわり生産しています。遊び心あふれる「どんぐりシリーズ」も人気です！

住所 竹成 1781-1
TEL 396-4508
FAX 396-4508



松尾製陶所

Matsuo Ceramics

土の温もりを感じられる土鍋や土瓶を生産し、特に夏の蚊遣り豚は町内ではここだけの製品でかわいいと評判です。

住所 竹成 1926
TEL 396-0519
FAX 396-2639



クラフト石川

Craft Ishikawa

土を叩いて成形するタタラ成形を主として、優しく手になじむシンプルで自然体の日用雑器を提案しています。

住所 永井 3029
TEL 396-3731
FAX 396-3731



山口陶器

Yamaguchi Ceramics

使い手や料理のことを考え、企画やデザインされた器はこれまでにない萬古焼として注目されています。

住所 川北 200-2
TEL 393-2102
FAX 394-0380



藍窯 堀内製陶所

Aigama
Horiuchi Ceramics

「藍窯」の名の通り、「藍」にこだわり、藍彫・白磁彫といった手作業の伝統技術を生かして製作しています。

住所 竹成 370-8
TEL 396-2600
FAX 396-0517



陶工房 みなみかわ

Pottery Workshop
Minamikawa

青年海外協力隊で過ごした異国での経験が作品作りに生かされています。かわいい小物などにも注目！

住所 永井 701-1
TEL 396-1495
FAX 396-1495



三鈴陶器

Misuzu Ceramics

耐熱陶器の技術を使って土鍋や陶板を生産しており、おいしくお米を炊きあげられるごはん鍋を主力にしています。

住所 永井 3098-1
TEL 396-0529
FAX 396-0798

伝統と技術を携え 現代の菰野ばんこを生み出す7人の窯元

Seven potters who create the modern Komono banko with tradition and technology



特選
BEYOND
300th
菰野ばんこ

窯元の個性光る菰野ばんこ

現在、町内には萬古焼の窯元として7つの製陶所があり、萬古焼の新たな価値の創出や技術の伝承に向けて取り組んでいます。特に近年では菰野町の萬古焼をブランドとして確立するため「萬古」をあえて平仮名で記して「菰野ばんこ」と称して売り出しています。

「菰野ばんこ」の7つの窯元ではそれぞれの特徴を生かした作陶活動を行っています。生産する製品もこれまでの萬古焼にないデザイン性に富む器、萬古焼の耐熱性を生かして直火やIH調理機に対応した鍋や皿、お米をよりおいしく炊きあげられるように考案されたご飯鍋など、これまでにないものが数多く生み出されています。それらの製品は従来の萬古焼の特性を持ちつつも形や色などで真新しさを感じられるもので、市場ではその真新しさが付加価値となりより一層、注目されてきています。使用する人の生活を意識して、ニーズに細かく対応してきた菰野の窯元たちの柔軟な発想と独自のアイデア、そして経験で培われた確かな技術が萬古焼を新たな形へと昇華させています。